

舟形町総合戦略の取組み及び数値目標・KPIの状況について

基本目標	基本目標におけるKPI (重要業績評価指標)				短期アクションプラン(5年)				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI					関係課								
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末		行政評価	目標値 (R6年度末)						
1 笑顔が溢れるまち (福祉健康)	要介護認定率	18.70%	18.50%	18.60%	20%未満に抑制	1	生涯を通じた健康づくりの推進	①地域医療との連携の強化	・町内の民間医療機関と連携し、予防・治療・在宅支援の一環した取り組みを行なっていきます。	・保健・医療・福祉・介護が連携した地域包括ケアシステムの構築 ・かかりつけ医への適正受診のすすめ	1人当たりの受診医療機関数	1.4件/年	1.3件/年	1.3件/年	○	現状維持							
								②二次医療圏供給体制の確保	・新庄市を中心とした二次医療圏の医療供給体制の維持と確保のために関係機関と連携した取り組みを継続していきます。 ・改築移転し新病院となる県立新庄病院と連携し、最上地域の救急医療の向上に協力します。	・最上地域保健医療対策協議会への参加 ・「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会」への参加													
								①生活習慣病対策の強化と重症化予防	・望ましい生活習慣の定着や健康づくりに取り組みやすい環境整備を行います。 ・生活習慣病の予防と早期発見、重症化予防のための取り組みを実施します。	・健康ポイント事業の継続 ・特定健診受診率向上への取り組み ・健康教育の充実 ・糖尿病重症化予防事業の実施	特定健診受診率	58.00%	61.27%	63.74%	○	65.00%							
								②がん予防対策の推進	・がんを防ぐための生活習慣の定着を図るための取り組みを継続します。 ・がん検診が受けやすい環境をつくり、受診率向上につなげます。 ・がん検診受診後の精密検診対象者に対し精密検診受診率向上に向けた取り組みの強化が必要です。	・禁煙への支援 ・食生活改善への取り組み(減塩・野菜摂取拡大) ・がん検診個人負担金の軽減(ワンコイン:500円がん検診の拡充) ・医療機関で検診受診した方への検診料金への助成の実施 ・精密検査未受診者への受診勧奨の徹底							がん検診受診率(平均)	31.20%	29.57%	44.85%	× 今年度より子宮頸がん・乳がん検診を偶数年齢の人のみ対象に変更となり受診率が伸びていない	52.00%	
								③こころの健康づくりの推進	・こころの健康づくりを中心とした自殺対策の強化と、知識の普及や地域で支え合う仕組みづくり等に取り組めます。	・自殺対策計画に基づいた取り組み(リーフレットの作成・配布)	-	-	-	-	-								
								④生涯を通じた口腔機能の維持	・乳幼児期のむし歯予防への取り組みの継続と、成人期から高齢期の歯周疾患予防への取り組み等、各年齢層に応じた施策を行います。	・乳幼児歯科健診及び健康教育 ・専門職と連携した口腔機能向上事業の実施 ・8020運動の普及	-	-	-	-	-	-							
								⑤医療費適正化の推進	・町民の健康保持増進とともに、医療が効率的に提供されるような取り組みを継続して行なっていきます。	・後発医薬品(ジェネリック)の使用推奨と普及啓発の推進 ・医薬品の適正使用の推奨と普及啓発の推進	後発医薬品の普及率(国保分)	76.30%	85.30%	85.30%	○	80.00%							
								2	高齢者・障がい者が輝く共生社会	1	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	①社会参画・生きがいづくり等の支援	・高齢者一人ひとりが役割を持って参加できる通いの場づくりを支援し、その活動を支援する担い手の養成に努めます。	・地域介護予防活動支援事業 ・通いの場づくりの担い手の確保、養成 ・介護予防・日常生活支援総合事業 ・外出支援事業の拡充 ・健康ポイント事業の継続 ・「もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会」への参加	認知症サポーター数(累計)	807人	1,056人	1,070人	○	1,000人			
												②地域支え合い	・関係機関等と連携し、地域における実情やニーズを捉え、地域支え合いの体制づくりを進めます。 ・高齢者自らの経験、能力を活かせる活動や居場所の創出に取り組み、地域の高齢者同士の助け合いや支え合いを支援していきます。	・生活支援コーディネーターの配置 ・地域支え合い推進協議会の開催 ・在宅医療・介護連携推進事業の取り組み ・高齢者向け住宅の整備・拡充 ・ICTを活用した見守り支援の検討 ・高齢者の主体的な活動支援の検討									
												③認知症の人と支える家族へのサポート	・認知症について正しい知識を普及し、認知症になっても地域で生活していけるような体制づくりを進めます。	・認知症サポーター養成講座の開催 ・認知症カフェの普及 ・徘徊高齢者家族支援事業の普及 ・認知症総合支援事業の取り組み									
												2	障がい者がいきいき暮らせるまちづくり	①こころのバリアフリーの推進	・町民一人ひとりがこころのバリアフリーについての理解を深め、互いに助け合うまちづくりをすすめます。	・こころのバリアフリーを促進するための広報や啓発活動 ・障がいについての理解を深めるための研修	-	-	-	-	町職員を対象とし研修会を1回開催した。	-	-
														②療育体制の充実・強化	・一人ひとりの特性に応じた効果的、継続的な療育を行うため、関係機関との連携を強化していきます。	・発達支援の観点からの乳幼児健診の充実とフォロー体制の強化 ・庁内各課及び他の関係機関と連携し総合的な相談体制の強化と連携システム構築に向けた取り組み	-	-	-	-	-	-	
③就労の促進	・就労を希望する障がい者の個々のニーズに沿った就労先を見つけるとともに、継続して働けるよう支援していきます。	・ハローワークや障害者就業・生活支援センター等の関係機関との連携による就労面、生活面の支援の実施	就労継続支援サービス利用者数(累計)	A型 7人 B型 19人	A型 5人 B型 17人	A型 3人 B型 15人	× 就労について働きかけや支援を関係機関と連携して行っているが、対象者の中には就労を望まない方もいたり、自分で一般就労を目指す方もいるため利用者数は伸びていない。							A型 9人 B型 23人									

舟形町総合戦略の取組み及び数値目標・KPIの状況について

基本目標	基本目標におけるKPI（重要業績評価指標）				短期アクションプラン（5年）				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI				関係課						
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末		R5年度末	行政評価	目標値 (R6年度末)			
2 町の「定」を守り育てるまち (教育文化)	魅力ある学校づくり調査「舟形が好きだ」	小4-73% 小5-62% 小6-51% 中1-67% 中2-20% 中3-31%	小4-80.0% 小5-37.5% 小6-61.3% 中1-51.5% 中2-45.2% 中3-43.2%	小4-78.4% 小5-68.8% 小6-45.2% 中1-52.0% 中2-41.2% 中3-33.3%	小4~6-80% 中1~3-80%	1 安心して子どもを産み育てられる環境づくり	1 出会い・結婚・出産・子育てへの支援充実	①結婚支援	・結婚を望む方へ、出会いの機会を創出し、結婚を実現するための活動に対し、支援を行います。	・婚活奨励費補助事業 ・結婚奨励資金融資利子補給事業 ・結婚祝金等交付事業 ・舟形町結婚サポートセンター事業 ・最上広域婚活実行員会 ・出会いの機会を創出する取り組み	婚姻数	12組/年	4組/年	6組/年	×	必ずしも今年度実施した事業の成果が今年度の婚姻数に反映されるわけではないので、今後増加することを期待している。	10組/年	まちづくり課 健康福祉課		
								②妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援	・子育て世代包括支援センターの充実と強化を行い、さらに切れ目なく支援していきます。	・母子相談の実施 ・各種教室の開催 ・子育て支援センター「みらい」との連携強化 ・病児保育の実施	-	-	-	-	-	-				
								③経済的負担の軽減	・出産や子育てに関する経済的負担を継続して軽減していきます。	・不妊治療費への助成 ・妊娠・出産の費用に関する支援 ・子どもの医療費に対する支援 ・ひとり親家庭への支援 ・保育に関する費用に対する支援	合計特殊出生率	1.01	出生数19人 (合計特殊出生率は3月発表)	出生17人予定 1.26 (R3年)	△	出生数は減少傾向にある。	1.56			
								2 保育機能の充実	①保育サービスの充実	・保護者のニーズに応じた保育サービスを継続・充実を図っていきます。	・未満児保育、障がい児保育等の実施 ・延長保育の拡充	児童保育所と体育・文化活動等教室の連携事業（累計）	1事業	0事業	0事業	×	コロナ後の実施体制が整わず、行えなかった。		2事業	
										②就学前教育の充実	・目標や課題を家庭と共有し、また地域とも連携をとりながら幼児教育に取り組むと同時に、保育士の資質向上のための支援を行います。 ・幼児にとって望ましい保育環境・施設の整備を行います。									・羽陽学園短大との連携 ・保育士等研修への支援 ・英語に親しむ活動の充実 ・幼児と小学校児童との交流会 ・学校・保育園の遊具及び施設等の環境整備
										③放課後児童支援	・舟形小学校の空き教室を活用した児童保育所の運営と、体育・文化活動等の教室を提供しながら、放課後児童の支援を行います。									・児童保育事業 ・体育文化活動等の教室開催
						2 共に生きる力を育成する教育の推進	1 学校・家庭・地域・行政による町ぐるみ教育の充実	①確かな学力の育成	・「協働的な学び」を通して「主体的・対話的で深い学び」をめざし、児童生徒の確かな学力を育成する。そのために、人的支援の充実を図ります。	・特別支援教育支援員、司書教諭、読書活動推進員、部活動指導員、ICT支援員等の配置 ・民間塾講師や教育ボランティアを活用した「わかあゆ塾」の実施 ・ALT配置による英語教育の充実 ・各種検定試験受験の支援拡充	魅力ある学校づくり調査「授業がよくわかる」	小4-57% 小5-38% 小6-67% 中1-36% 中2-30% 中3-23%	小4-58% 小5-47% 小6-45% 中1-17% 中2-26% 中3-35%	小4-65% 小5-69% 小6-50% 中1-23% 中2-40% 中3-31%	△ 中学生は分からない教科の評価に引っ張られる傾向がある。（一つでもちょっと分からないと思う教科があると、①あてはまる。ではなく②どちらかといえばあてはまる。の項目を選択する為） 次期は目標設定を考える必要もある。	小4~6-70% 中1~3-60%				
								②地域に学び、地域を愛する教育の充実	・地域に伝わる自然や文化、歴史等を学ぶ「ふるさと学習」を推進し、地域を理解し大切にすることを育みます。	・「ふるさと学習」の小・中連携 ・日本一の給食食育推進事業 ・コミュニティスクールの推進 ・世田谷児童交流事業 ・舟形若鮎太鼓の継承										
								③小・中学校の施設整備と教育環境の充実	・老朽化が進む中学校校舎の移転改築に係る検討を進め、方針を示します。 ・新学習指導要領で求められる英語・ICT・プログラミング教育等の推進・充実を図る。	・小中学校施設の機能向上 ・中学校校舎の移転改築の検討 ・ICT教育推進のための設備充実										
								④職業観・勤労観の育成	・「総合的な学習の時間」を活用した地域に向いての学習を積極的に行うとともに、各学年・教科の目当てに対応した体験を通して、キャリア教育の充実を図る。	・「総合的な学習の時間」の活用 ・地元企業と連携したトライワーク ・多様なサマーボランティア活動										
						3 生涯学習の推進と文化スポーツの振興	1 生涯学習の推進	①学校・家庭・地域の連携協働推進	・地域と学校をつなぐコーディネーターが中心となり、地域住民や豊富な社会経験を持つ外部人材等の協力を得て、学校支援活動、放課後子ども教室、家庭教育支援、地域ぐるみの学校安全体制の整備などの取組を通じて、社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図ります。	・学校・家庭・地域の連携協働推進事業 ・地域コーディネーターの配置 ・放課後子ども教室の開催 ・家庭教育講演会事業	放課後子ども教室の開催日数	56日/年	20日/年	38日/年	△ 伝統芸能教室の開催日数が減ったため。	60日/年	教育委員会			
								②青少年の健全育成	・青少年が健康で心豊かに成長し、次代の担い手となるよう、家庭・学校・地域及び行政が連携・協力し、相談機関の周知を図るなど、青少年の健全育成のための諸施策を推進していきます。	・いじめ・非行防止運動事業 ・青少年育成推進員設置事業 ・家庭教育推進事業 ・通学合宿事業 ・高校生ボランティアの育成										

基本目標	基本目標におけるKPI (重要業績評価指標)				短期アクションプラン(5年)				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI					関係課		
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末		行政 評価	目標値 (R6年度末)
							③成人・高齢者教育の推進	・町民を対象としたニーズ調査を実施し、各世代に合わせた学習機会の提供や、より主体的な活動団体の育成を推進します。 ・地域の人材発掘・育成・つながりづくりによる、地域活動団体の育成を推進します。 ・高齢者等が持つ技術や技能が途絶えることのないよう伝承事業を実施していきます。		・生涯学習及び生涯スポーツ現況調査事業 ・舟形大人塾事業 ・シニア元気塾事業 ・地域学講座事業 ・舟形町母親委員会事業 ・PTA活動の支援	-	-	-	-	-	-	
							④読書活動の推進	・生まれてから継続して本に親しむ機会の提供や読み聞かせ活動を通じた子ども読書活動の推進、学校や図書館の書架整備などにより、家庭・地域・学校等がそれぞれの役割を果たせる施策を進め、読書習慣の定着に努めます。 ・舟形町子ども読書活動推進計画に基づき、総合的な読書活動を推進します。		・ブックスタート事業 ・ブックスタートフォローアップ事業 ・読み聞かせ団体の支援 ・読み聞かせ講演会事業 ・家読推進事業	中央公民館図書室の本貸出数	1,012冊/年	1,000冊/年	800冊/年 ※子育て支援センター100冊/年	△子育て支援センターでの本の貸出及び利用を可能にしたため、中央公民館図書室からの貸出が減ったため。	1,100冊/年	
						2 芸術文化の振興と文化財の活用	①芸術文化活動の振興	・多くの住民が主体的に文化活動に参加し、文化を楽しみ創り出していくために、各団体の活動支援と育成を行います。 ・子ども芸能団体の支援や親子太鼓教室の開催、学童保育所での囲碁・将棋・オセロ体験を実施するなどし、若い人が芸術文化に触れる機会を作ります。		・町芸術文化協会の支援 ・町猿羽根太鼓保存会の支援 ・親子太鼓教室の開催							
							②縄文の女神の活用	・住民が国宝「縄文の女神」の出土地として、舟形町を誇りに思えるよう、縄文の女神の回帰に向け、町民の機運を助成するとともに、その施設整備等を山形県等に要望していきます。 ・住民等が縄文の女神を身近に感じ、触れて学べる機会を提供します。		・「縄文の館」の整備要望 ・縄文の女神陶製レプリカ整備事業 ・縄文の女神の日関連事業 ・最上南部3町村(最上、大蔵、舟形)縄文文化発信推進事業 ・西ノ前遺跡公園女神の郷活用事業	芸術文化協会加盟団体数(累計)	12団体	11団体	12団体	○	現状維持	
							③文化財の保存と伝承	・文化財の適正な保存と文化財保護委員、地域人材の育成、関係団体への支援を図ります。 ・住民が地域にある文化財を学び触れる機会を提供し、郷土への愛郷心醸成を図ります。		・文化芸能団体等活動奨励補助事業 ・地域文化財講座事業							
						3 スポーツの振興	①子どもの体力・運動能力の向上	・学校やスポーツ少年団本部、スポーツ推進委員会等との連携・協力により、積極的な呼びかけや各年齢層のニーズにあった事業を展開し、スポーツの楽しさや喜びを感じられる活動を行います。 ・子どものうちから運動習慣を身に付けるきっかけづくり事業を展開します。		・スポーツ少年団の支援 ・放課後児童スポーツ教室 ・B&G海洋センターの運営 ・総合型スポーツクラブの推進	小学生のスポーツ少年団加入率	39.7%	32.5%	35.2%	×	テレビゲームやスマホゲームの利用の増加により、外で遊ぶ機会が減少し、スポーツへの関心を持つ機会が減少している。また、競技が多様化しているが、町内に組織がないことも加入率が伸びない原因と考える。	45.0%
							②健康スポーツ・競技スポーツの推進	・体育協会の体制強化と活性化を中心とした生涯スポーツの普及推進を図ります。また、スポーツクラブ指導員の育成と地域スポーツ交流の充実を図ります。 ・競技スポーツに関わる選手の強化、育成、支援を行い、将来的に世界レベルを目指す選手の育成を推進します。		・生涯学習及び生涯スポーツ現況調査事業 ・体育協会の支援 ・生涯スポーツ教室の開催 ・トップアスリート招へい事業 ・スポーツ指導者育成推進事業 ・地域(町内会)スポーツ交流大会支援 ・高校生以上の強化選手激励事業							

舟形町総合戦略の取組み及び数値目標・KPIの状況について

基本目標	基本目標におけるKPI（重要業績評価指標）				短期アクションプラン（5年）				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI					関係課			
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末		行政 評価	目標値 (R6年度末)	
3 地域の魅力・活力を生み出すまち（産業経済）	町内従業者数	1,533人	1,444人	1,397人	現状維持	1 地域の強みを生かした農林水産業の振興	1 備かる農業の推進	①経営体・担い手の育成及び法人化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者及び認定新規就農者制度等を活用し、意欲ある担い手の育成・確保を進めます。特に、将来の農業を担う若い農業者の確保を目指します。 経営基盤を強化するため法人化を進めます。 新庄市への設置が決まった専門職大学（令和5年開業予定）を支援するとともに、連携を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代人材投資資金 新規就農者育成の取り組み（営農相談、営農モデルの周知等） 経営所得安定対策事業 園芸拡大スピードアップ事業 農作業受委託推進の取り組み 営農相談員による経営体の組織化・法人化への支援 専門職大学との連携 	認定農業者数（累計）	109人（うち3法人）	109人（うち4法人）	103人（うち4法人）	×	110人（うち4法人）		
								②売れる米づくり	<ul style="list-style-type: none"> 他産地と差別化が図れる米づくりを推進し、産地間競争が激化しても売れ残らない米（全量売り切れる米）を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 衛星システム活用事業 衛星システムを使って栽培した米の情報発信 取り組み事業者による商品化の推進 								
								③園芸農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 本町の重点振興作物のうち主要4品目（ねぎ、ニラ、アスパラガス、きゅうり）を取り入れた経営の複合化による経営の安定化を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 産地生産基盤パワーアップ事業 経営所得安定対策事業 魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業 園芸拡大スピードアップ事業 農業再生対策事業 	-	-	-	-	-	-		
								④スマート農業の導入	<ul style="list-style-type: none"> ロボット技術やICTを活用した労働力不足を解消する対策を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 やまがたスマート農業普及推進事業 衛星システム活用事業 								
								⑤生産基盤と施設の近代化	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性に応じて、ほ場・農道・用排水路施設など、土地基盤の整備を効率的・計画的に推進し、農業用施設の近代化を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良施設維持管理適正化事業 県営農地整備事業 土地改良整備事業 	ほ場整備新規採択件数（累計）	-	4件	4件	○	計画どおり順調に採択されている。	3件	
								⑥農林水産業を起点とした6次産業化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化の取り組みによる多角経営を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化の取り組みの支援 6次産業化取り組み者の法人化支援の取り組み 農林水産物処理加工施設活用の取り組み 	加工品の製造販売に取り組み農業法人数（累計）	2法人	3法人	3法人	○		3法人	
							2 林業・内水面漁業の持続的推進	①林業の成長産業化	<ul style="list-style-type: none"> 森林資源を有効活用するため、経営管理意向調査を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 林地台帳の整備、公表 森林環境譲与税を活用した森林の適正管理 	人工林面積における経営管理意向調査の実施済割合	0.0%	0.0%	0.0%	△	意向調査の準備を進めている。	20.0%	
								②内水面漁業の持続的推進	<ul style="list-style-type: none"> 水産資源の増殖活動の実施及び町全域における河川の清掃による漁場環境の保全・管理を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 稚鮎放流の取り組み 河川清掃の取り組み 	鮎の放流量（町委託分）	475kg/年	475kg/年	475kg/年	○		現状維持	
							2 地域に根差した産業振興	1 商工業の持続的推進	①企業の維持・発展と雇用の創出	<ul style="list-style-type: none"> 小規模企業振興基本条例に基づき、企業に対しては、維持・発展につながる各種補助金や優遇措置を講じながら支援を行なっていきます。 創業等に対しては、相談や補助金など創業しやすい環境づくりに取り組みます。 勤労者に対しては、安心して生活できる環境の整備に取り組みます。 企業誘致については、新庄中核工業団地企業誘致促進協議会の活動を中心に企業誘致に取り組みます。 商工業と他産業との連携を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 町商工業振興資金融資利子補給事業 町中小企業者保証料補給事業 町労働者生活安定資金融資事業 誘致企業優遇措置事業 企業懇談会の開催 町商工業活力アップ推進事業 町資格取得支援事業 企業誘致の推進 町商工業振興事業 関係機関と連携した創業支援 	新規創業者数（累計）	-	5件	6件	○		10件
									②町内商店の商業機能の維持	<ul style="list-style-type: none"> もがみ南部商工会と連携し、商店等の維持及び事業承継の相談・支援に取り組みます。 町外への販売を促進するため、マーケティングやSNS等の研修を行い、競争力強化を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 町商工業活力アップ推進事業 町資格取得支援事業 町商工業振興事業 							

基本目標	基本目標におけるKPI（重要業績評価指標）				短期アクションプラン（5年）				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI					関係課	
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末		行政 評価
						2 交流・関係人口の拡大	①観光から交流へ	・地域住民が主体となって、これまでの都市等からの受入事業や、都市等での物販交流事業への参加を継続して取り組んでいきます。		・都市交流事業の取り組み ・東京友の会との交流事業	施設来場者数 若あゆ温泉、県民ゴルフ場、マッシュルームスタンド、観光物産センター「めがみ」の来場者数	242,900人/年	212,000人/年	233,000人/年	○コロナ禍から順調に回復している	250,000人/年
						②地域資源の有効活用	・町の「自然（景観）」「文化・史跡」「食」「行事・イベント」等の地域資源に「人」を加え、交流の促進と関係人口の増を図り、地域の活性化を目指します。 ・鮎釣り文化を継承し釣り人の誘客につながる取り組みを行います。		・ふながた若鮎まつりの開催 ・舟形若あゆ温泉、猿羽根山公園、農林漁業体験実習館の維持管理 ・小国川河川公園（アユパーク）を活用した交流促進事業 ・県最上総合支庁と連携した「最上地域の玄関口となる道の駅」の検討 ・鮎釣り甲子園の開催							
						③縄文の女神の商品開発	・国宝土偶「縄文の女神」関連商品の開発及び製作し、商品を活用しながら広く情報発信を強化します。		・国宝土偶「縄文の女神」の情報発信強化の取り組み							
						④各種イベントや施設情報の発信	・インターネット等を活用して町のイベントや交流施設等の情報を発信します。		・舟形町観光物産センター「めがみ」を情報発信拠点とし、イベントや交流施設などの情報発信強化の取り組み ・町ホームページの交流コンテンツ機能強化の取り組み ・ふるさとサポーターとの連携による取り組み							
						⑤ふるさと納税の推進	・各種ふるさと納税ポータルサイトやSNSを活用し、特産品や取組み、寄付金の用途などきめ細やかな情報発信に努めます。		・特産品や取組みなどをSNS等を活用して情報発信する取り組み ・寄付金の使途をSNSや封書により寄付者を中心に全国に発信する取り組み	-						

舟形町総合戦略の取組み及び数値目標・KPIの状況について

基本目標	基本目標におけるKPI（重要業績評価指標）				短期アクションプラン（5年）				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI					関係課	
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末		行政評価
4 （支え合うまち つながり、 地域づくり）	地域運営組織 の設立	0組織	2組織	3組織	4組織	1 持続可能な地域 づくり活動の推 進	1 コミュニティ活動 の推進	①単位自治組織の活動支援	・まちづくりの基本となる町内会の活動を継続・活発化するための活動支援を行います。 ・地域住民が自主的な意思により地域の課題（ハード面）に対応し解決する活動の支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ助成事業 ・地域づくり総合支援事業 ・地域コミュニティ再生への取り組み ・地域協働環境整備事業 	地域における課題解決等を目的とした活動件数	21件/年	18件/年	22件/年	○ コロナの影響を受けて縮小していた地域活動だったが、内容を精査しながら従前の活動に戻りつつある。	25件/年
								②地域運営組織の構築と活動の推進	・望ましい生活習慣の定着や健康づくりに取り組みやすい環境整備を行います。 ・生活習慣病の予防と早期発見、重症化予防のための取り組みを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・官民協働・地域間連携による住民主体の地域づくり支援事業 ・集落支援員事業 ・小さな拠点の形成の検討 						
								③地区公民館の運営・整備の支援	・地区公民館の運営や整備に対し地区の規模に応じた、適正な支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館等運営費補助事業 ・地区公民館施設整備費補助事業 						
							2 多様な担い手による 活躍の推進	①NPO等の地域ボランティア活動の推進	・ボランティア活動やNPOの意義等について知識を深めるとともに、協働のまちづくりを行う活動への支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体の活動への支援 ・NPO法人の立ち上げに関するセミナーや研修会の開催 	地域おこし協力隊活動終了後の地元定着人数（累計）	3人	3人	4人	△ R4年度で退任した隊員が町内で起業し活動を継続している。	
②多種多様な人材等の活用と連携の推進	・地域おこし協力隊制度を活用し、地域の活性化と定住に向けた支援をします。 ・大学等との連携により地域の人材育成に取組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の活動支援 ・人材育成に向けた大学等との多様な連携方策の検討・実施 														
③若者の主体的な活動の推進	・地域で活動する若者の組織づくりと活動の支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動を行う若者の組織づくりに対する支援 ・若者が主体的に行う活動に対する支援 														
④男女共に活躍できる環境づくり	・県や関係機関等と連携して女性の活躍促進の取り組みを行います。 ・ワーク・ライフ・バランスの実践拡大に向けた取り組みを行います。 ・DV（配偶者暴力）未然防止に向けた意識啓発の強化をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・山形いきいき子育て・介護応援企業への登録推進 ・やまがた企業イクボス同盟の取り組み ・マザーズジョブサポート山形を活用した女性の再就職支援 ・各種委員会委員への女性の積極的な登用 ・DV施策における、県や関係機関との連携及び広報、啓発の促進 	山形いきいき子育て・介護応援企業の登録件数（累計）	4社	0社	0社	× 新規の認定及び更新終了	6社								

舟形町総合戦略の取組み及び数値目標・KPIの状況について

基本目標	基本目標におけるKPI（重要業績評価指標）				短期アクションプラン（5年）				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI				関係課					
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末		R5年度末	行政評価	目標値 (R6年度末)		
5 （防災安全） くらし・生命を守るまちづくり	自主防災組織率	97.40%	97.73%	97.85%	100%	1	国土強靱化と地域の安全の確保	①事前防災・減災対策の推進	・平成30年8月豪雨時の教訓を踏まえ、災害時も機能を発揮する防災拠点施設、要配慮者が安心して避難できる福祉避難所を整備します。 ・舟形町国土強靱化地域計画に基づき、ハード・ソフト両面で事前防災・減災対策を進めます。	・防災拠点施設の整備 ・福祉避難所の整備 ・新基準に基づくハザードマップの整備 ・緊急輸送道路、孤立集落アクセスルートの整備 ・道路施設等の防災対策・耐震化・老朽化対策等による安全確保 ・国や県と連携した治水対策の実施	防災士の数 (累計)	14人	21人	23人		20人			
								②消防防災体制の充実	・消防団員の確保に努め、老朽化した消防施設・装備を計画的に更新し、消防・防災力の向上を図ります。	・消防団員の確保 ・消防積載車の更新(更新計画) ・消火栓・防火水槽の改修等 ・消防団員の装備の充実									
								③自主防災組織の育成	・自主防災組織と地域防災リーダーの育成を推進し、地域での災害時の初動体制・誘導体制及び組織的活動体制の確立を図ります。	・自主防災組織の育成 ・地域防災リーダー育成 ・防災士の育成							○ これまでは、消防団幹部や防災担当職員が受験し防災士の資格を取っていたが、豪雨災害等が多発しているため防災担当以外の職員も防災士の資格を取り、有事の際に備える方針を示しているため、目標値は達成している。 今後も職員だけでなく、広く町民に呼びかけ、取得者を増やし、地域防災力強化に努めていく。		
								④防災無線等の情報システムの活用	・防災行政無線などによる防災・災害情報(J-ALERTや山形県河川情報システムと連携)を迅速かつ的確に発信し、共有化できる体制を確立します。	・情報配信システムの活用									
								⑤災害時の対応力の強化	・防災センター機能を充実し、業務継続体制の構築を図るとともに、防災対応訓練を実施することにより、災害時の対応力の強化を図ります。 ・大規模災害発生時における応急復旧等を円滑に行うため、広域的な相互応援・協力体制の構築を進めます。 ・災害時に必要となる物資等の供給を確保するなど、民間業者等との協力協定の締結を促進します。	・防災センター機能の充実 ・広域的な相互応援・協力体制の構築 ・民間業者等との協力協定の締結の促進									
								⑥防災教育の強化	・未来の自然災害に対して行動できる知識を持ち、自ら考えて判断し、危険から身を守る行動をとるため、学校や地域での防災意識の向上を目指します。	・避難訓練実施の支援 ・防災教育の充実 ・防災講演会の開催									
								①地域安全・防犯対策の推進	・防犯協会を中心に継続して積極的な啓発活動を展開していきます。 ・消費生活団体や警察組織等と連携しながら、特殊詐欺被害等防止のための啓発活動を展開するとともに、各種消費者相談に対して連携するなど相談機能を強化します。	・地域安全運動の充実強化 ・各団体と連携し、防犯の防止、青少年非行防止 ・防犯広報、パトロールの実施 ・消費者行政推進事業 ・特殊詐欺防止啓発事業 ・消費生活相談窓口設置	特殊詐欺被害件数	0件/年	1件/年	2件/年		現状維持		住民税務課 地域整備課	
								②交通安全意識の高揚と安全対策	・関係機関等と連携し、交通安全意識の向上のための教室や飲酒運転の撲滅や交通マナーの向上に資するため、広報・啓発活動の充実を図ります。 ・高齢者のペダル踏み間違い等による交通事故対策として、「サボカー・サボカーS」に搭載されている先進安全技術の導入を促進します。 ・交通危険個所の把握に努め、交通事故の発生防止を図るため、交通標識やカーブミラーなどの交通安全施設の充実を図ります。	・交通安全県民運動の推進 ・飲酒運転等の悪質・危険運転撲滅運動 ・子どもと高齢者の交通事故対策強化 ・地域住民の交通安全意識、規範意識の高揚 ・自動車安全運転装置の設置の推進(後付け含む) ・交通安全施設の整備	死亡事故件数	0件/年	1件/年	0件/年		現状維持			

基本目標	基本目標におけるKPI（重要業績評価指標）				短期アクションプラン（5年）				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI					関係課
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	
						3 雪に強いまちづくり の推進	①除雪体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの地域条件に合った除雪体制を構築します。 除雪サービスの公平性を保つため、居住する住宅から最寄りの国・県・町道までの距離の遠い生活道路へ除雪支援を継続します。 側溝の老朽化対策を図るとともに地元流雪溝維持管理組合の体制を強化します。 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な除雪体制の整備による道路除雪の実施 除雪機械の計画的な整備・更新 生活道路への除雪支援 社会資本整備総合交付金による流雪溝整備事業への取り組み（R4完了） 豪雪対策本部設置時の対応強化の取り組み 県と連携した総合的な雪対策 	町道舟形一号線流雪溝整備事業の進捗	0.0%	100.0%	100.0%	○	100.0%
					②協働による雪処理の体制づくり		<ul style="list-style-type: none"> 地域等における除排雪の連携協力体制の強化を進めるとともに、自助・共助の支え合い意識の醸成を行うための支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域支え合い除排雪活動支援事業 小型除雪機購入補助事業 高齢者除雪サービス等の福祉サービスの実施 							
					③融雪システムの取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 融雪システムの公共施設や民間施設への導入を促進します。 より導入しやすい融雪システムについて調査研究を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 大地熱融雪システムの導入促進 再生可能エネルギー等設備導入の普及・支援の取り組み 雪国エコ境実験住宅の活用 		-	-	-	-	-	-
					④雪に親しみ活用する取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 雪を楽しみ、親しむための取り組みを支援します。 雪を資源として利用する取り組みを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 雪の遊びや雪国の文化を振興・継承していく取り組みへの支援 農林漁業体験実習館に設置の雪冷房システム・零温穀物貯蔵システムの検証 							

舟形町総合戦略の取組み及び数値目標・KPIの状況について

基本目標	基本目標におけるKPI (重要業績評価指標)				短期アクションプラン(5年)				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI					関係課							
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末		行政評価	目標値 (R6年度末)					
6 (生活環境のまちづくり) 快適な暮らし 人口の社会増減数 (転入と転出の差)	▲149人 ※直近5年間累計	▲175人 ※直近5年間累計	▲156人 ※直近5年間累計	▲110人 ※今後5年間累計	1 生活を支える社会資本の整備・機能強化	1 道路・河川・水道・下水道・交通の整備	①道路網の整備	・国や県への道路整備要望及び町道等のアクセス道路網の整備への要望活動を実施します。 ・施設の老朽化対策として段階的に更新及び修繕を図ります。	・各種同盟会を通じた幹線道路整備の要望 ・社会資本整備総合交付金事業 (防災安全交付金) を活用した道路整備・改良事業	-	-	-	-	-	-	-	-	地域整備課 まちづくり課				
							②最上小国川かわまちづくり事業等による河川の整備	・国や県への河川整備要望及び河川施設の強靱化への要望活動を実施し、災害に備えた河川等の整備を促進します。 ・県及び小国川漁業協同組合と連携し、最上小国川かわまちづくり事業を推進します。	・最上小国川かわまちづくり事業 <町の取り組み> 各整備エリアを接続するための施設整備 ・景観整備・遊歩道整備 ・各種ソフト事業	-	-	-	-	-	-							
							③安定的な水の供給に向けた水道施設の維持管理	・水道施設の長寿命化を図り、計画的な事業運営を行います。 ・水道料金の見直しによる料金改定を検討し、適切な維持管理及び段階的な施設整備を行います。	・水道アセットマネジメント計画による取り組み	有収率 配水量のうち水道料金の徴収対象となった水量の割合	87.7%	77.2% (R3年度)	71.7%	×	水道管の破損による漏水の増のため、有収率が下がっており、今後も同様の見込み。	90.0%						
							④下水道施設の維持管理	・下水・農集の維持管理費の軽減による適切な経営及び老朽化対策における段階的な施設の改修及び補修を行います。 ・合併処理浄化槽区域は、適切な補助金交付による更新を進めます。	・下水道事業はストックマネジメント計画への取り組み ・農集集落排水は最適整備構想での取り組み ・合併処理浄化槽の補助支援	汚水処理人口 (普及率)	97.2%	97.4%	97.4%	×	合併処理浄化槽区域の普及率が上がらないため数字は横ばいとなっている。 人口減少、高齢化により合併処理浄化槽の増加は難しい。	98.0%						
							⑤公園の維持管理	・身近な拠点である公園施設の整備・充実を図ります。 ・地域ボランティアの参加による公園施設の維持管理に取り組みます。	・遊具など施設の現状把握や適正な管理 ・地域ボランティアへの委託	-	-	-	-	-	-	-						
							⑥公共交通体系の整備	・タクシー運営会社等と連携し、公共交通の利便性向上の検討を行い、高齢者の移動手段としてさらなる定着を目指します。 ・鉄道在来線の整備及び新幹線との接続強化、鉄道利用の拡大等を県及び市町村、県内各種経済団体等と推進します。	・デマンド型乗合タクシーの運行費補助及び利便性向上の検討 ・公共交通となりうるほかの手段の検討 ・県鉄道利用・整備強化促進期成同盟会等の取り組み ・奥羽本線・陸羽東線の利用拡大の取り組み ・鉄道ダイヤ改正要望の取り組み	-	-	-	-	-	-							
					2 安心して暮らせる住環境等の整備	▲149人 ※直近5年間累計	▲175人 ※直近5年間累計	▲156人 ※直近5年間累計	▲110人 ※今後5年間累計	2 安心して暮らせる住環境等の整備	2 住環境の整備	①孫プロジェクト等によるUターン施策の展開	・町内外の若者に、本町や地域の情報を伝え、暮らしやすい町というイメージを持ってもらえるような取り組みを行います。 ・同窓会など、本町出身者が集まる機会を捉え、町の各種情報の提供等を行い、Uターンを考える方への支援を行います。 ・県や産業界と連携した支援や取り組みを実施し、若者の将来的な町への定着を推進します。	・おかえり！ 孫プロジェクト事業 (ふながたWAKU WAKU WORK、ジョブシャドウイング、企業を対象とした研修会の開催、移住冊子の作成と配布、HPやSNS等を活用した取り組み動画の配信、就転職活動交通費補助金、有償インターンシップ支援補助金) ・新庄・最上ジモト大学との連携 ・同窓会等開催に対する支援 ・若者定着奨学金返還支援事業	魅力ある学校づくり調査 「将来、舟形に住みたい」 若者定着奨学金返還支援事業利用後の町内居住者数 (累計)	中1-21% 中2-9% 中3-16%	中1-18.2% 中2-7.1% 中3-18.9%	中1-8.0% 中2-11.8% 中3-7.7%	△ 舟形の魅力を伝える機会が少なく、伝えることが不十分と考える。	中1~3-60%	10人	まちづくり課
												②移住施策の展開	・本町の魅力や多様な支援策の情報を移住セミナーや様々な媒体で積極的に発信し、町外からの移住者確保につなげていきます。 ・首都圏での移住イベントへの参加によるPR ・移住コンシェルジュとの連携による移住相談窓口の利用促進 ・ふるさと山形移住・定住推進センターと連携した移住施策の展開 ・移住者支援策の展開 (移住支援金、移住世帯向け食の支援事業) ・若者向け定住・移住住宅を中心とした移住施策の推進	移住相談件数	2件/年	6件/年	28件/年	○ 東北農林専門職大学の教職員および学生向けアパートの建築により、町内への移住相談回数が増えた。	10件/年			
												①定住環境の整備	・高齢者や子育て世代、三世同居に配慮した住環境の整備を進めます。 ・地域の実情に合わせた小規模な宅地造成計画を推進します。 ・子育て支援住宅入居者の退去時期が迫っていることから、宅地造成計画など、本町に継続して住める環境づくりの整備を進めます。 ・民間賃貸住宅の建築費用に対し建築費を補助し、若い勤労者世帯などの地元への定着を図ります。 ・公営住宅 (団地・戸別) の施設整備の計画を見直します。	・定住促進団地 (宅造) の整備 ・子育て支援住宅の整備 ・民間賃貸住宅等建設支援 ・在来工法建築 (新築) 補助金 ・転入者補助金 ・若者定住支援交付金 ・子育て支援交付金 ・若者向け定住・移住住宅 ・公営住宅の維持管理	-	-	-	-	-	-	-	地域整備課 住民税務課

基本目標	基本目標におけるKPI (重要業績評価指標)				短期アクションプラン(5年)				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI					関係課		
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末		行政 評価	目標値 (R6年度末)
							②空き家対策	・空き家バンクの積極的な活用を促し、空き家の有効活用を図ります。 ・空き家の実態調査を行うとともに、町内会等と連携した情報共有を進めます。また、実態調査を基に管理不全な空き家の所有者に対して指導を行うなど、継続して所有者自身による解体を促進していきます。 ・空き家等対策計画を策定し、空き家等の適正管理と利活用を促進するとともに、特定空き家等の発生抑制に取り組みます。		・空き家バンク ・空き家除却事業 ・空き家実態調査 ・舟形町空き家等対策計画の策定と計画に基づく取り組みの実施（発生抑制、適正管理と利活用、解体等）	空き家バンク 利用による定住（累計）	-	2件	6件	○ 町の魅力を発信し、舟形町に住みたい、このままずっと舟形に住みたいと思えるようなまちづくりをすることにより、定住希望者及び空き家バンクの活用を促進する。	5件	
						3 持続可能な環境づくり	①優れた自然環境の保全	・身近な生活環境において、町民一人ひとりが自分でできる範囲の美化活動への参加を促し、共同活動を通じた生活環境保全への意識醸成を図るとともに、ごみの不法投棄パトロールや看板の設置など不法投棄防止に努めます。		・きれいな川で住みよいふるさと運動の実施 ・ごみのポイ捨て・不法投棄防止の啓発 ・巡回パトロールの実施	一人当たりの ごみ排出量	554g/日	564g/日	6月頃公表	△ 衛生組合連合会等の各種団体と連携しながら、紙類資源の回収拡大、食品ロスの削減や水切りなど、ごみ減量化及び資源化を進めている。	526g/日	
					②循環型社会の推進		・衛生組合連合会等の各種団体と連携しながら、紙類資源の回収拡大、食品ロスの削減や水切りなど、ごみ減量化及び資源化を進めます。	・ごみゼロやまがた推進プランの推進 ・食品ロスの削減の取り組み ・生ごみの水切り推進の取り組み ・リサイクル運動補助金 ・集団資源回収支援の強化 ・紙類資源回収の取り組み									
					③環境に優しいエネルギー政策の推進		・町民や事業所への啓発等を通して、地球温暖化対策のCOOL CHOICEなどの取り組みや省資源・省エネルギーに向けた取り組みを促進します。 ・公共施設へ積極的に省エネルギー・再生可能エネルギー設備を導入するとともに、一般家庭や企業への再生可能エネルギー等の設備導入を支援します。	・エコドライブの普及などCOOL CHOICEを推進するための取り組み ・公共施設における再生可能エネルギーの利用拡大 ・省資源・省エネルギーに向けた取り組み ・民間における再生可能エネルギー等設備導入の普及・支援の取り組み		事業系廃棄物 処理場への個人搬入を含む	348t/年	295t/年	6月頃公表	○	313t/年		
					④畜場の環境整備の推進		・畜場利用者への利便性を配慮し、快適性・厳肅性・合理性を具現化する施設を目指し、常に良好な施設の維持とサービスに努めます。	・畜場を可能な限り長く利用できる方法の調査及びその検証結果に基づく環境整備の推進									

舟形町総合戦略の取組み及び数値目標・KPIの状況について

基本目標	基本目標におけるKPI（重要業績評価指標）				短期アクションプラン（5年）				※実施した事業は青網掛け	基本施策におけるKPI				関係課																	
	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末	R5年度末	目標値 (R6年度末)	施策の大綱	基本施策	具体的施策	展開方針	R5年度実施事業 主な事業・取り組み	数値目標	現状値 (H30年度末)	R4年度末		R5年度末	行政 評価	目標値 (R6年度末)														
7 健全で持続可能な行政運営 (支える基盤)	実質公債費比率 悪化していく推計であるが、最小限に留める目標設定	12.50%	12.6% (R3年度)	11.5% (R4年度)	16%未満に抑制	1 時代の变化に的確に対応する行政運営	1 財政の健全化	①財政健全化への対応	・歳出削減に適切に取り組み、一般財源の確保に努めます。 ・実質公債費比率抑制のため、事業を厳選し、起債発行を抑制します。	・事務事業の見直しを実施 ・起債削減の徹底 ・普通建設事業の重点化・厳選	経常収支比率 悪化していく推計であるが、最小限に留める目標設定	70.0%	87.6%	82.7% (R3年度)	86.4% (R4年度)	○ 経常収支比率の上昇要因となっている公債費の増加は、令和9年度まで増加していく見込みとなっていることから、事業の優先順位の見直しを行い、長期的な視点で事業効果と財政健全化のバランスを図った事業執行とした。また、公債費の増加については、交付税措置率の高い起債の活用により、比率上昇率の低減につながっていることから、必要な事業について有利な財源を活用する事業構築を継続する。	92%未満に抑制	総務課													
								②財源の確保	・社会情勢を鑑みながら利用者負担の適正化を検討していきます。 ・滞納整理の適正執行を実施します。 ・未利用施設等の有効活用や処分・売却により、コスト削減や財源確保に努めます。 ・特色ある事業への民間資金の活用を検討します。	・使用料等の適正化 ・未納対策の強化 ・未利用財産の有効活用と処分 ・ふるさと納税制度の活用 ・クラウドファンディングの検討・実施 ・企業版ふるさと納税制度の検討・実施																					
								③公共施設等の適正管理	・住民活動を推進しながら公共施設の利用率向上に努めます。 ・維持管理・運営に要する経費の把握と今後の推計を行うとともに、老朽化が進んでいく施設の将来について検討します。	・健康づくりや交流等の活動による公共施設の利用促進 ・維持管理・運営に要する経費等を網羅した個別施設計画(全施設)の策定 ・公共施設等総合管理計画の見直し ・各施設の課題整理と公共施設運営委員会を中心とした管理運営の方向性の検討 ・廃校校舎利活用の取り組み																					
								④公営企業等の経営健全化	・安定的な使用料収入を確保することで経営の健全化に努めます。 ・公営企業法適用に適切に対応し戦略的経営を実施します。	・経営戦略による経営健全化 ・公営企業法適用による戦略的経営																					
							2 行政の効率化	①適正な定員管理と効率的な組織体制の推進	・適正な定員管理を進め、組織体制の充実を図ります。 ・課題及び現状を職員で共有し、それに向けた事務分担を設定し、組織運営の効率化・スリム化を行います。	・計画的な職員採用の実施 ・柔軟かつ機動性の高い組織形態の構築（横断的プロジェクトチームの充実） ・庁内横断的な会議の開催による課題の共有と改善 ・業務マネジメントの徹底	職員一人当たりの研修日数								1.8日/年	4.3日/年	6.5日/年	○ 定員管理計画のもと、計画的に毎年職員を採用しており、組織強化の充実が図られてきた。その人材をマネジメントする管理職のスキルや、各個人の能力、業務に必要なスキルを身に付け、住民サービスの向上を図るために、県研究所や最上広域市町村圏事務組合で行う研修や、町独自の研修に参加することによる人材育成に力を入れている。	4.0日/年	総務課							
								②職員の人材育成	・各種研修等を通じて、目まぐるしい時代の変化に的確に対応できる職員を育てます。	・管理監督者の指導者としての養成の強化 ・能力を発揮できる職場環境づくりの構築 ・職員研修の充実																					
								③民間活力及びICTの活用推進	・指定管理制度や民間業者への外部委託を積極的に推進します。 ・各種行政手続きにおいて、ICT活用による利便性向上を図ります。 ・産業経済等の幅広い分野での住民活動におけるICT活用を支援します。	・民間活力を活用できる業務の洗い出しと対応事業者の掘り起こし ・マイナンバー情報連携 ・県電子申請の活用 ・農業をはじめとした産業分野や各種住民活動においてICT活用を支援する取り組み																					
								④広域連携の推進	・最上広域市町村圏事務組合による事務の共同処理を継続します。 ・新庄市との新庄最上定住自立圏形成協定による既存の連携事業を継続しつつ、圏域内での広域連携によるスケールメリットを生かしたさらなる取り組みを進めます。	・最上広域市町村圏事務組合での事務の共同処理の実施 ・新庄最上定住自立圏形成協定による事業連携の拡充																					
							2 情報力の強化	1 情報発信・広聴の強化	①情報発信の強化	・町政情報の積極的な発信や町民参画の機会の確保など、広報活動を強化することが重要です。職員一人ひとりが広報活動に対する意識と技術の向上を目指すとともに、各課の連携強化を図ります。 ・町民に「伝わる広報」を目指して広報ふながたの質を高めます。	・SNS等の効果的な活用やマスメディアとの積極的な連携 ・新たなプロモーション戦略の推進 ・広報誌、ホームページの充実 ・メール配信システムの運用														町ホームページアクセス件数	68,393件/年	680,480件/年	630,000件/年	○ R3年12月から新HPが運用開始し閲覧しやすくなったことや、町制施行70周年記念事業や東北農林専門職大特設ページの開設等、町の様々な施策をタイムリーに発信している。	80,000件/年	DF推進室 まちづくり課
									②広聴活動の充実	・多様な町民ニーズや地域課題を把握するため、様々な手法による積極的な広聴活動を推進します。 ・意見や提言の横断的な情報共有の促進を図るとともに、町政への反映状況の積極的な公表に努め、町民との情報共有を推進します。	・広報ふながた「ふれあい広場」や町民アンケート、地域づくりワークショップ等の取り組み ・パブリック・コメントの推進																				